

新幹線プレス

2013年1月1日 新年号

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

謹賀新年

組合員、OB会員、そしてご家族のみなさん、明けましておめでとうございます。

昨年暮れの衆議院議員選挙では、自民党が圧勝し、安倍政権が発足しました。安倍首相は、「2%のインフレターゲット」を日本経済の立て直しの目玉政策にしています。労働者の賃金が上がらなければますます景気後退しわれわれ労働者の生活は困窮の極みとなります。また、安倍首相は投票日の翌日には、早くも憲法改悪に言及しています。しかし、戦後最低の投票率から見るとられるように国民が自民党に期待したわけではなく政治に対する二ヒリズムが自民党の議席を多くしたにすぎません。

私たちは昨年の選挙闘争を通じて、支援した候補者はもちろん、多くの市民団体や個人と信頼関係を築きました。これをさらに強化し、憲法改悪を許さない広範な戦線をつくらなければなりません。

また、今年、「報復処分撤回裁判」の判決があり、新たに「出向強制延長無効」の裁判を立ち上げる予定です。どちらの裁判も単に当該組合員の問題ではなく、全労働者にかかわる問題です。法廷闘争と、職場生産点からのたたかいを結合し、勝利しなければなりません。

昨年、私たちは出向先会社と初めて団体交渉を行いました。出向組合員のみならず出向先の労働者にも評価を得ることができました。労働組合の主たる取り組みである労働条件の向上のために具体的な職場要求を掲げこれを獲得するために職場のたたかいを展開し、これを背景に会社との交渉を強化し成果を勝ち取るということが今のわれわれに最も求められていることではないでしょうか。

すべてのたたかいを通じて、わがJR東海労に新たな仲間を迎え入れるために、奮闘しようではありませんか！

執行委員長 成田 隆浩

執行副委員長 森谷 孝一

書記長 小林 正明

書記 杉澤 秀則

執行委員 小林 昇

同 土川 節夫

同 平山 裕一

同 木藤 純宏

同 剣持 善昭

同 田村 浩彰

同 伊藤 一也

同 山口 了

同 有恵 和好

同 尾崎 次夫

同 佐藤 賢

同 池田 昭男

同 布施 喜一

同 吉井 明

同 上田 幸二

同 小林 健司

同 藤村 昌弘

同 会計監査員

新年を迎えての決意

東京第一運輸所分会 滝波 武

新年明けましておめでとうございます。

職場ではこの間「命令と服従」「規律と忠誠心」を押し進める職場風土と労務管理の中で、安全・安定輸送が脅かされています。私たちは今一度しっかりと安全確立を目指し、職場から闘いを展開し、安全で働きがいのある職場環境を目指し、組織の強化拡大を勝ち取ります。

2013年の決意

東京第二運輸所分会 庭山 義輝

新年明けましておめでとうございます。

師走の衆議院選ではおおよその予測通り自民党の圧勝となりました。国防軍の創設など、憲法改正を掲げる自民党政権復活の意味するものは、更なる社会不安、ますます環境は厳しくなるばかりです。

1月23日には報復処分撤回裁判の判決を迎えます。必ず勝利あるものと確信しておりますが、予断は許されません。気を抜くことなく最後まで闘い抜く決意で臨みます。本年もよろしくお願い致します。

2013年の抱負

東京車両所分会 松井輝道

あけましておめでとうございます。年末の衆院選で自民党が圧勝し、消費税の増税、憲法9条の改正、自衛隊の国防軍化が強行に押し進められます。それに抗して反原発、反リニアをはじめとした闘いを職場から構築していかなくてはなりません。

年末手当においても2名の仲間がカットされました。絶対に許すことはできません。会社からの攻撃を許さず、反撃の闘いを共に創っていきましよう。今年もよろしくお願い致します。

原発廃炉に向け闘おう

三島車両所分会 高田光久

新年明けましておめでとうございます。

あの東日本大震災と福島原発事故から早2年が経とうとしています。私たち、三島車両所分会も何故原発なのか！のもとに反原発を掲げ、少数分会ですが原発を廃炉にさせる闘いを進めていきます。

あきらめない

東京地区分会 佐藤 雅巳

あきらめない。反原発を！戦争反対を！リニア反対を！あきらめない。山本修のJR帰任を！東京駅営業三科の要員増を！出向会社の労働条件改善を！

私たちは、全ての働く仲間たちと共に、ねばり強く職場から組合運動を創っていく。今この国は坂を転げ落ちていく。日本列島は放射能まみれだ。若者には仕事がない。あっても過重労働と貧困だ。そして偽善者たちは戦争の準備をしている。私たちはあきらめない。

新しい年を迎えるにあたって

新幹線地本OB会 伊藤 勝

総選挙は自公の圧倒的勝利に終わりました。3・11という大災害と人災による原発事故で危機的事態に直面しました。今なお漏れ続ける放射性物質によって何も終息していません。そんな被災地である福島、宮城県では54基も原発をつくり再稼働をも示唆している自民党を勝利させました。右翼が圧倒的勝利を収めたことの本質は資本家側の勝利であり御用組合化した労働者側の敗北ということです。原点に戻り闘い抜くしかありません。